

2022年9月-12月

デジタル庁活動報告

2022年12月19日

デジタル庁
Digital Agency

情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

1

サービス開発ガイド

2

マイナンバーカードのメリットと安全性

3

政策データダッシュボード (β版)

情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

1

サービス開発ガイド

2

マイナンバーカードのメリットと安全性

3

政策データダッシュボード（β版）

サービス開発を助ける「デザインシステム」を公開

デザインシステムとは、一貫したデザインや操作性でウェブサイトやアプリを提供するための仕組みです。

カラー

2022年9月31日 アップデート

Color palette showing various shades for text, background, border, status, and icons in light and dark themes.

ガイドライン

Design principles diagram showing user flow and service components.

アクセシビリティへの配慮

Diagram illustrating accessibility considerations for text and contrast.

テキスト入力

2022年11月14日 アップデート

Text input components including labels, text boxes, and error messages.

ガイドライン

Design principles for text input, showing correct and incorrect examples.

仕様

Specification diagram for text input components.

デジタル庁デザインシステム 1.2.0版 2022年11月11日公開

モーダルダイアログ

2022年4月15日 アップデート

Modal dialog components for smartphone and desktop.

ダイアログは、重要な情報を知らせ、決定や選択を求めるコンポーネントです。複数のタスクを含む場合があります。一時的にユーザーの動作を中断する必要がある場合のみ使用し、多用を控えてください。

マージンとサイズ

Margin and size specifications for dialog titles and buttons.

Dialog components for smartphone and desktop.

ターゲット領域

Target area specifications for dialog titles and buttons.

ダイアログを閉じる機能

Close dialog functionality components.

ボタン

2022年8月31日 アップデート

Button components in primary, secondary, and tertiary styles.

カラーは各番庁共通とし、個別のブランドカラーには左右されないものとします。

標準コンポーネント

Standard component specifications for buttons.

マージン

Margin specifications for button titles.

ターゲット領域

Target area specifications for buttons.

ボタン幅

Button width specifications.

アイコン

2022年11月14日 アップデート

System icons for web use.

システムアイコンは、選択や操作などの機能をわかりやすく表現するために使用を推奨しているオープンソースアイコンです。後述の通り、プラットフォームごとに最適なアイコンセットを選んでください。

ガイドライン

推奨するオープンソース	プラットフォーム	ウェブ	Android	iOS
Material Symbols	Material Symbols	Material Symbols	SF Symbols	
Weight	300	300	Light	
最新バージョン	Material Design	Material Design	HIG	

線と塗りアイコンの使い分け

Line and fill icon usage guidelines.

仕様

Icon specifications for different platforms.

仕様

アイコンサイズ	プラットフォーム	ウェブ	Android	iOS
サイズ	48px	48px	48px	48px
最小サイズ	24px	24px	24px	24px

デジタル庁デザインシステム 1.2.0版 2022年11月11日公開

リンクテキスト

2022年11月30日 アップデート

Link text components in normal, focused, and active states.

文中にリンクを表現する場合、リンクカラーを用いてテキストには下線をひきます。リンクの色は、カラーガイドを参照してください。

ガイドライン

Link purpose guidelines showing correct and incorrect examples.

外部リンク・ファイル形式

External link and file format specifications.

仕様

Mobile device specifications for link text.

デジタル庁デザインシステム 1.2.0版 2022年11月11日公開

サービス開発を助ける「デザインシステム」を公開

デザインシステムとは、一貫したデザインや操作性でウェブサイトやアプリを提供するための仕組みです。

効率的な開発へ

より良い行政サービスを提供するためには、アクセシビリティ（誰もが利用できること）とユーザビリティ（使いやすいこと）の検討に多くの時間と労力が必要です。既存のサービスで使い勝手が検証されているデザインパーツやテンプレートを再利用することで、効率的なサービス設計を実現します。

より使いやすく

デザインがサービスごとに異なると、利用者は操作方法をつと学び直すことになり、「分かりにくい」と感じやすくなります。操作方法や情報の見せ方を統一し、利用者の負担を減らすことで、信頼してもらえるサービスづくりを目指します。

The image displays a grid of five design system pages, each with a blue header and a white content area. The pages are:

- カラー (Color):** 2022年8月31日 アップデート. Shows color palettes for Text, Background, Border, Status, and Chart in both light and dark themes. Includes a 'Semantic color' section.
- テキスト入力 (Text Input):** 2022年11月14日 アップデート. Shows various text input fields (Default, Focused, Filled, Error, Disabled) and their corresponding styles in light and dark themes.
- モーダルダイアログ (Modal Dialog):** 2022年4月15日 アップデート. Shows dialog boxes for smartphone and tablet/desktop views, including titles and content.
- ボタン (Buttons):** 2022年8月31日 アップデート. Shows various button styles (Normal, Hover, Active, Disabled) and their corresponding styles in light and dark themes.
- マージンとサイズ (Margins and Sizes):** Shows margin and size specifications for dialog boxes and buttons across different devices.

Each page includes detailed specifications, examples, and guidelines for using the components. The 'Color' page includes a 'カラーガイド' (Color Guide) section explaining the 'セマンティックカラー' (Semantic Color) system. The 'Text Input' page includes a 'デザイン原則' (Design Principles) section. The 'Buttons' page includes a '仕様' (Specifications) section. The 'Modal Dialog' page includes a 'デザイン原則' (Design Principles) section. The 'Margins and Sizes' page includes a 'デザイン原則' (Design Principles) section.

デザインシステム適用前

膨大な開発時間。使いやすさは不十分

開発には多くの関係者が関わるため、前進するのに膨大な時間がかかります。認識の違いや誤解も生じやすくなってしまいます。



デザインシステム適用後

素早く開発。使いやすいサービスに

専門家や既存のサービスから得られた知見を反映した画面デザインを継承することが可能に。開発チームはより大きく複雑な課題解決にリソースを割り当てられるようになります。



府省庁、自治体、事業者の方々が自由に利用できるように

デザインシステムに関する情報やデータをデジタル庁ウェブサイトとFigmaで公開中。今後も定期的に更新します。

デジタル庁ウェブサイト デザインシステムページの閲覧数

(11月11日-12月11日)

53,300 以上

デザインシステムのダウンロード数

(12月現在)

3,900 以上

カラー

2022年8月31日 アップデート

Color palette showing various color swatches for text, background, border, icon, button, and chart in light and dark themes. The palette includes categories like Text Light/Dark, Background Light/Dark, Border Light/Dark, Icon Light/Dark, Button Light/Dark, Status Light/Dark, Chart Light/Dark, and Semantic color (primitive color).

カラーガイドは、色の用途ごとに名前を割り当てた「セマンティックカラー」で構成されています。原則、デザイン時はセマンティックカラーから用途にあった色を選択してください。セマンティックカラーは、後述するプリミティブカラーを参照しています。実装時はセマンティックカラーとプリミティブカラーに指定されたトークン（変数名）を活用することで運用保守性を高めることができます。

目録 ガイドライン

テキスト入力

2022年11月14日 アップデート

Form input components including text fields, labels, and error states. The components are shown in a grid layout with labels and required field indicators.

テキスト入力コンポーネントは、名前や電話番号など、1行以内のテキストを入力する場合に使用します。

目録 ガイドライン

設計の原則

- コンテナーの幅は、言葉の長さに合わせて調整してください。入力すべきものをより直感的にわかりやすくできます。
- ラベルテキストは入力項目を端的に表現してください。入力項目が1つしかなく、その意味を画面タイトルなどで明確に説明できる場合は省略可能です。
- プレースホルダーには入力例を記入することが推奨の入力補助です。入力中や入力後に強制が必要な場合はサポートテキストを活用してください。

Comparison of container widths for text input fields. The left side shows a container that is wider than the text, while the right side shows a container that is the same width as the text.

コンテナーが入力すべきテキストの長さに合わせている 全てのコンテナーが同じ長さになっている

目録 仕様

障害のある方の利用を考慮した開発ガイドも公開

「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を実現するため、継続的にウェブアクセシビリティの向上に取り組めます。

まずは知ってもらうことから

ウェブサイトだけではなく、申請・手続等におけるデジタルサービスの重要性が増す中で、より多くの方がウェブアクセシビリティに取り組めるようにする必要があります。

専門家でなくても理解できるように

最新の技術動向を踏まえた、初心者が学習できる研修資料が不足しています。ウェブアクセシビリティに初めて取り組む方向けに、基本的な考え方や始めるうえでのポイントなどをゼロから学べるガイドブックを公開しました。

ウェブアクセシビリティ 導入ガイドブック

Introduction to
Web Accessibility

2022年12月12日発行



情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

1

サービス開発ガイド

2

マイナンバーカードのメリットと安全性

3

政策データダッシュボード（β版）

身近な場所でマイナンバーカードを利用可能



いつでもどこでも
オンライン手続きできます。

子育てや介護に関する行政手続や新型コロナワクチン接種証明書をオンラインで取得できます。

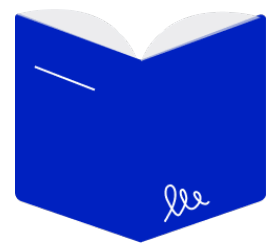
※市区町村により、取得できる証明書の種類が異なります。



ご自宅近くの
コンビニで使えます。

コンビニの専用端末から、住民票、印鑑証明、各種税証明書、本籍地の戸籍証明書などを取得できます。

※市区町村により、取得できる証明書の種類が異なります。



お住まいの地域サービスで
使えるようになります。

図書館での書籍の貸出やタクシー運賃を補助するマイタク制度など、様々なお住まいの地域サービスで順次ご利用できるようになります。

※市区町村により、使えるサービスが異なります。



いつも通っている病院や薬局
でも使えるようになります。

マイナンバーカードを健康保険証として利用することや薬局で処方箋なしで薬を受取ることができます。(2023年1月以降)

※使える病院、薬局は順次拡大中です。

マイナンバーカードの安全性について



紛失時の一時利用停止

コールセンターにて

24時間365日対応

仮に紛失した場合、マイナンバー総合フリーダイヤルに電話で連絡すれば、カードの一時利用停止措置が取られ、カードの第三者によるなりすまし利用を防止します。



マイナンバーカード券面

顔写真付のため悪用は困難

仮に紛失しても、第三者が、容易になりすますことはできません。

各種対策により偽造は困難

文字をレーザーにより彫りこむとともに、複雑な彩紋パターンを施す等により、券面の偽造を困難にしています。



ICチップ

ICチップには必要最小限の情報のみ記録

「税関係情報」や「年金関係情報」など、プライバシー性の高い情報は記録されません。

記録情報の盗取は困難

不正に情報を盗取しようとする各種手法に対し、自動的に記録情報を消去する機能など、対抗措置を施しています。

利用には暗証番号が必要

電子証明書ごと、アプリごとに、暗証番号が設定されています。仮に紛失しても、取得した第三者は、暗証番号を知らないとなりすましできません。また、暗証番号は、入力を一定回数以上間違えるとロックされます。

セキュリティの国際標準の認証を取得

ICカードのセキュリティの国際標準である「ISO/IEC15408認証」を取得しています。

情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

1

サービス開発ガイド

2

マイナンバーカードのメリットと安全性

3

政策データダッシュボード (β版)

多くの方々が公開データを確認・利用

デジタル庁では、2022年1月からワクチン接種記録システム（VRS）のダッシュボードを公開しています。

絞り込みフィルター

年代

- すべて
 65歳以上

性別

- すべて
 男性
 女性

死亡者

- すべて
 死亡者を除く

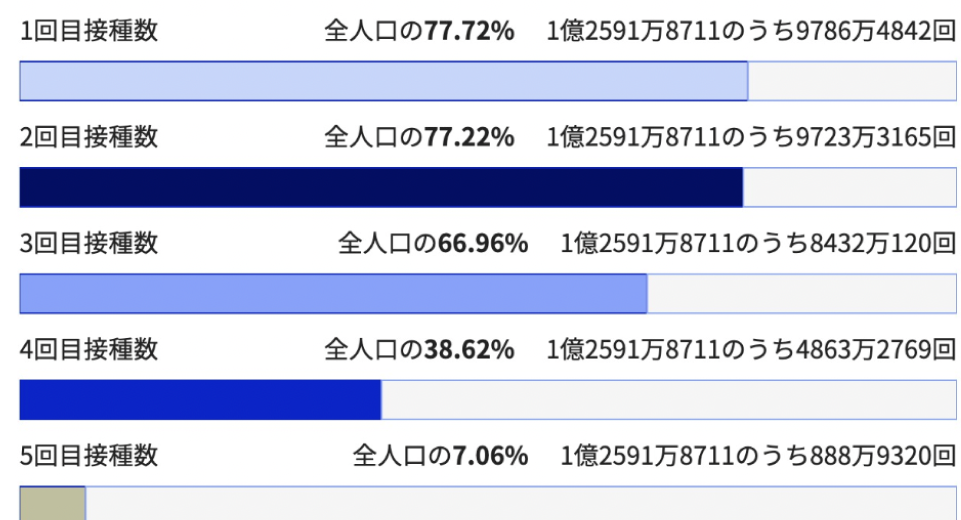
都道府県を選択

全国

全国のワクチン接種状況

2022年11月29日時点

時点日、回数、データは毎日（土日祝日含む）1回更新
1回目および2回目は一般接種のみに限る



全年代の人口:1億2591万8711人、65歳以上:3592万8838人 [\(母集団となる人口データの根拠について\)](#)

日次推移グラフ

ワクチン接種数の日次推移



累計ページビュー数

(2022年4月～2022年12月)

450,000 PV以上

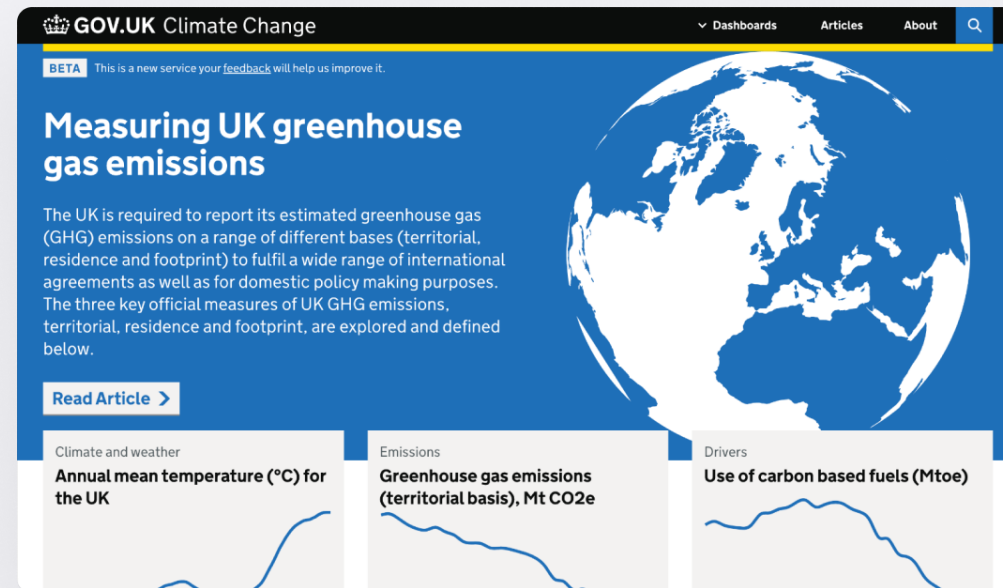
累計データダウンロード数

(2022年1月～2022年12月)

300,000 件以上

各国政府も政策や行政サービスに関わるデータのオープン化を推進

各国の政府も、積極的にデータを公開。新型コロナ関連、財政の見える化、環境課題など、さまざまな用途で利用が進んでいます。



Gov.uk climate change

イギリス / GOV.UK

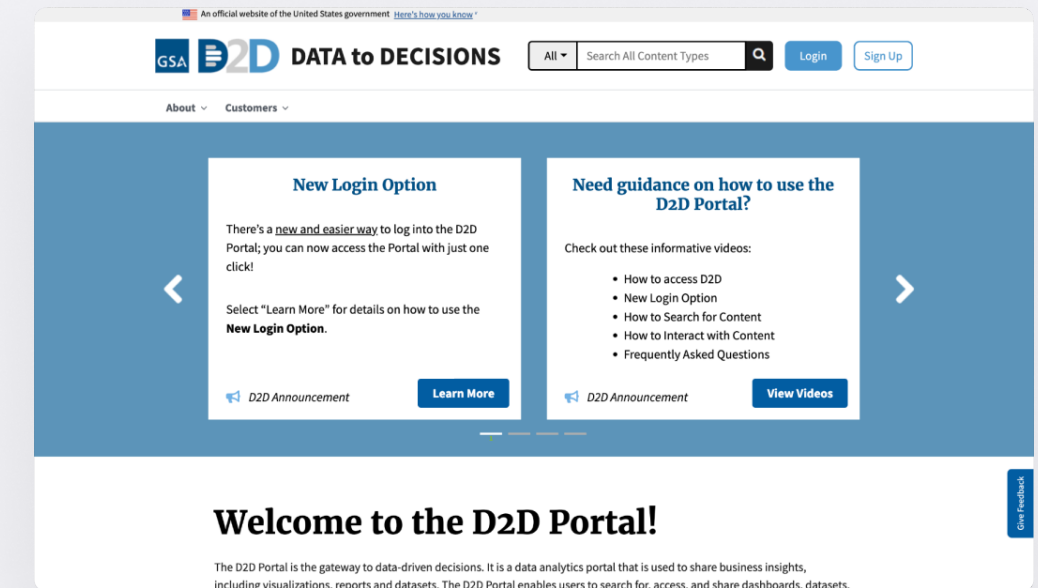
英国気候変動統計ポータルは気候変動に関わる6つの指標を公開しています。政策立案者や市民は、英国の気候変動、温室効果ガス排出量、排出量と国際貿易の関係について知ることができます。



Singapore Department of Statistics

シンガポール / 通商産業省

シンガポール通商産業省は、データの提供や可視化など、意思決定を支援する統計サービスを提供しています。公的機関、一般市民などの幅広い関係者によって、様々な目的のための重要な情報として使用されています。



GSA Data to Decisions: D2D

アメリカ合衆国 / 米連邦政府一般調達局

米連邦政府一般調達局は、政府機関職員がデータに基づく意思決定をするため、連邦政府のオープンデータ、コロナ関連、不動産登記関連等の幅広いデータと、分析・活用のために必要な機能を提供しています。

政策データダッシュボード（ベータ版）を公開



政策データダッシュボード（ベータ版）を公開

マイナンバーカード交付枚数、健康保険証との紐付数、公金受取口座の登録数などマイナンバーカードに関連するデータの公開を開始します。

デジタル庁



マイナンバーカード

累計申請件数（有効申請）

78,445,132

人口に対する申請件数率

62.3%

累計交付枚数

69,258,834

2022年12月11日 時点

政策データダッシュボード

マイナンバー政策に関わる数値を毎週更新で公開しています。

2022年12月9日

デジタルの日「オンラインイベント」の概要と「good digital award」受賞者を発表しました

10月2日（日）に行う、デジタルの日「オンラインイベント」の概要、「good digital award」受賞者を発表しました。デジタルの日公式サイトでもご紹介をしています。

2022年9月20日

2022年12月11日 時点の数値 データの定義

デジタル庁
Digital Agency

マイナンバーカード

累計申請件数（有効申請）

78,445,132

人口に対する申請件数率

62.3%

累計交付枚数

69,258,834

1日あたり（直近4週平均）

161,693

先週の合計

1,536,549

前週の合計: 1,228,242 (+308,307)

健康保険証 マイナンバーカード紐付け

累計

35,671,442

紐付率

51.5%

紐付率：紐付数/マイナンバーカード累計交付枚数

1日あたり（直近4週平均）

172,260

先週の合計

1,380,041

前週の合計: 1,258,207 (+121,834)

公金受取口座の登録

累計

29,486,013

登録率

42.6%

登録率：登録/マイナンバーカード累計交付枚数

1日あたり（直近4週平均）

168,015

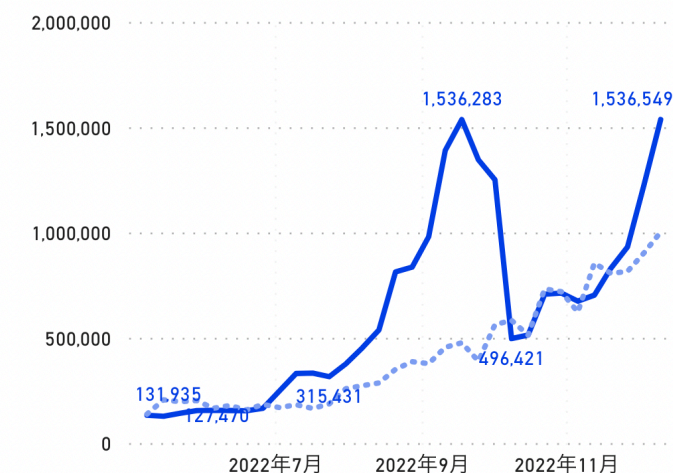
先週の合計

1,352,591

前週の合計: 1,221,122 (+131,469)

有効申請件数と交付枚数

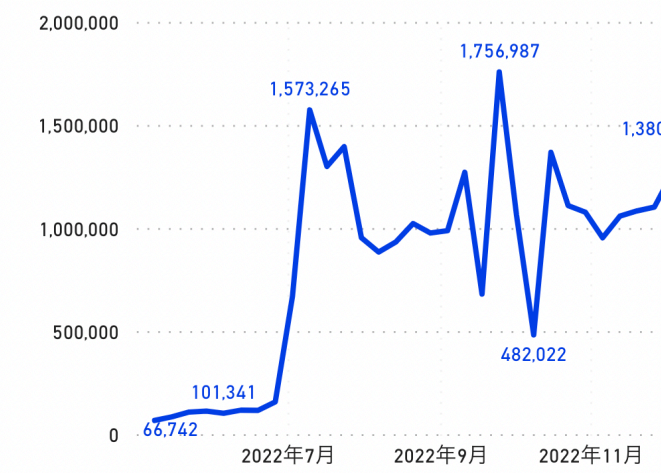
週次 累計



更新日：2022年12月11日

紐付け件数

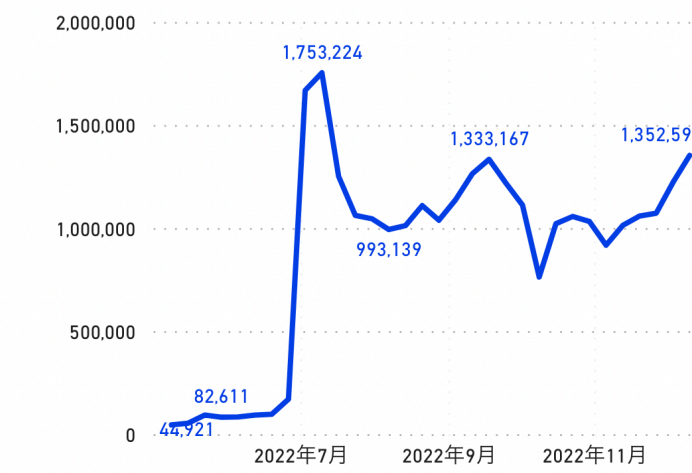
週次 累計



更新日：2022年12月11日

登録件数

週次 累計



更新日：2022年12月11日

情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

1

テクノロジーマップ

2

調達プロセス改善

3

民間サービス活用（防災分野）

情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

1

テクノロジーマップ

2

調達プロセス改善

3

民間サービス活用（防災分野）

アナログ規制の見直しの加速

デジタル臨時行政調査会では、対面や目視などのアナログ規制を撤廃し、デジタル技術を活用して人手不足の解消や生産性の向上等を目指しています。直近では、フロッピーディスクなどの記録媒体を指定する規制を合わせた法令約9000条項のうち約99%の見直し方針を確定しました（2022年10月時点）。地方公共団体にアナログ規制の点検・見直しに取り組んでいただくためのマニュアルも、デジタル庁のウェブサイトで公表しています。

8 項目

アナログ的規制の対象項目

9,000 件

見直し方針が確定した条項数（概算）

2 年

2024年6月を目処に点検・見直しを実施



目視
2,853件



定期検査・点検
1,036件



実地監査
74件



常駐・専任
1,058件



書面掲示
768件



対面講習
217件



往訪閲覧・縦覧
1,421件

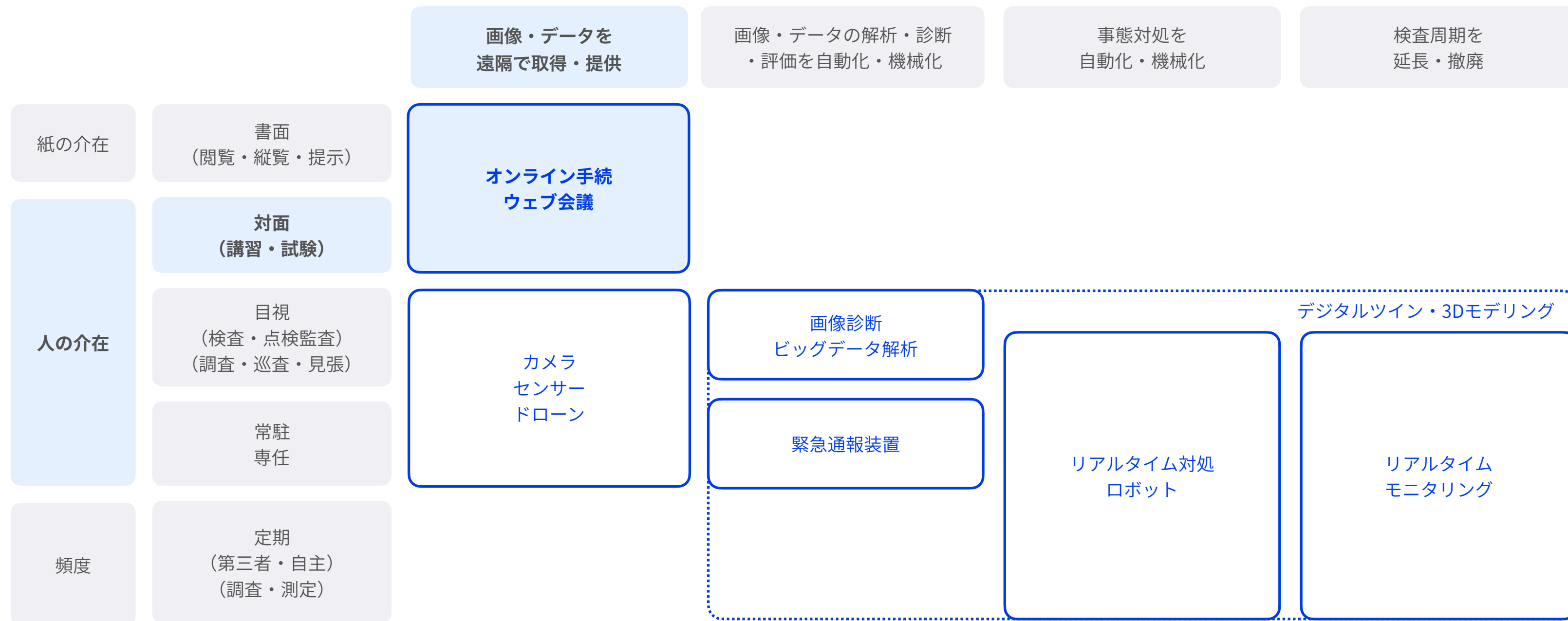


FD等記憶媒体
1,602件

※ 数値については、第5回デジタル臨時行政調査会（本年10月27日開催）時点のもの

民間のデジタル技術活用へ（対面の講習・試験）

アナログ規制見直しの参考とするため、目視・常駐専任など規制の種類とデジタル技術の対応関係を整理したテクノロジーマップを整備しています。さらに、規制の対象となる民間事業者が、デジタル技術の活用を検討する際の参考情報をまとめたカタログも充実させていきます。第一弾の取組として、対面講習や対面試験のデジタル化を実現するための技術を9月末から公募し、23の製品・サービス情報をウェブサイトにて公表しました。



デジタル技術の公募を実施

大企業からスタートアップまで、多様な企業からの応募がありました。今後も中小企業やスタートアップ等が保有する技術を積極的に記載することで、民間技術の活用、新しい産業の創出にも寄与していきます。

株式会社ジェイジェイエスプラス

東日本電信電話株式会社

株式会社教習所サポート

アルー株式会社

ITRA株式会社

株式会社デジタル・ナレッジ

株式会社ケイエムシー

NTT印刷株式会社

株式会社プロシーズ

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

パナソニック コネクト株式会社

AvePoint Japan株式会社

株式会社イー・コミュニケーションズ

株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズ

InstaVR株式会社

凸版印刷株式会社

株式会社データミックス

プロメトリック株式会社

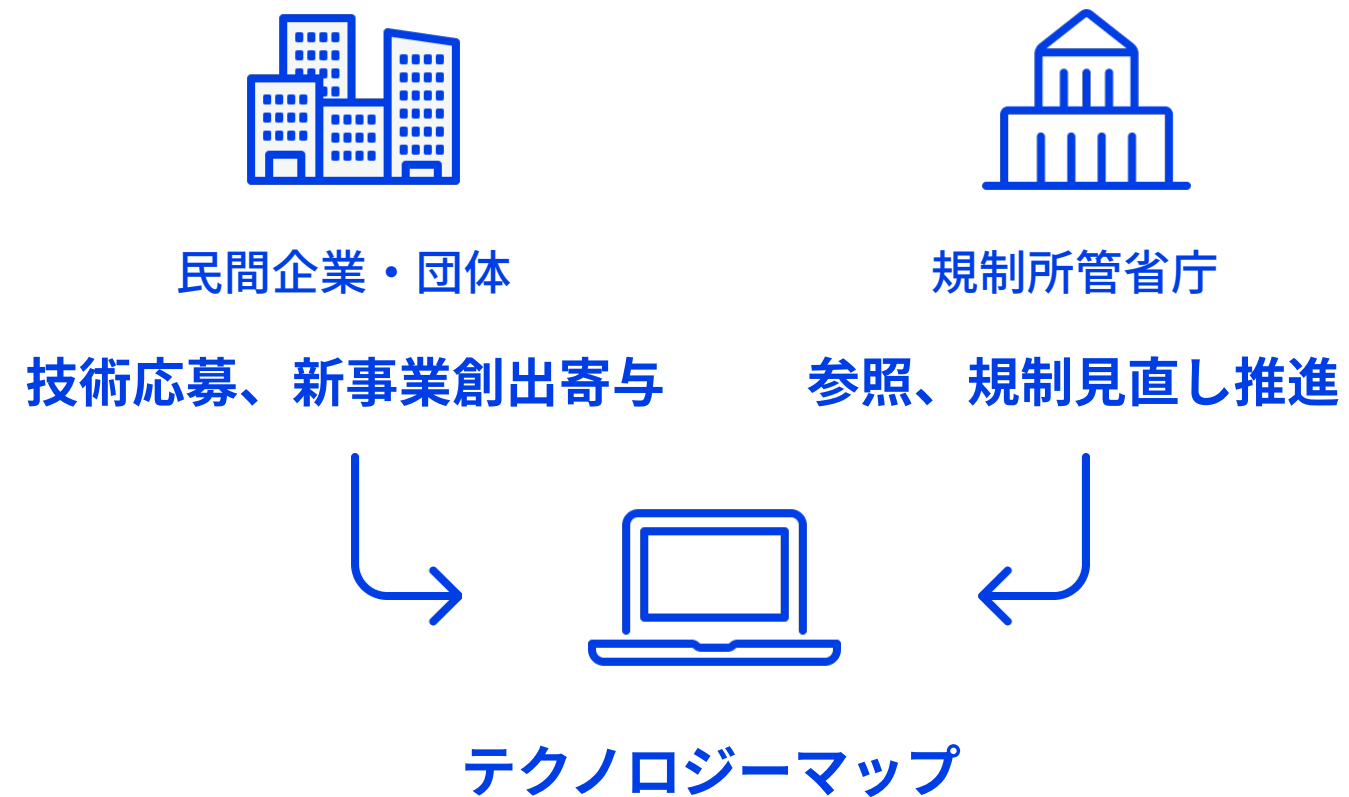
株式会社TRUSTDOCK

民間事業の活性化、新規事業創出の支援

民間企業・団体との連携を深め、テクノロジーマップの整備を加速します。

第二弾の募集テーマを検討

民間企業・団体にテクノロジーマップへの情報提供をさらに呼びかけ、新事業創出と省庁の規制見直しを推進



連携強化の仕組みづくり

テクノロジーマップに掲載する情報を民間企業・団体が提案・提供できる仕組みを組成



情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

1

テクノロジーマップ

2

調達プロセス改善

3

民間サービス活用（防災分野）

現在のIT公共調達課題

多様な民間ITサービスの活用を推進するにあたって、行政機関・事業者双方にとって様々な課題があります。

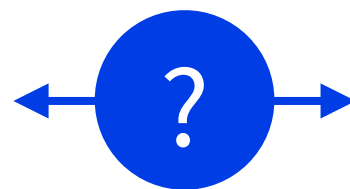
行政機関と事業者ともに情報が不透明

行政機関（調達側）の仕様情報や事業者（入札側）のサービス情報が不透明であることから、ITサービスの導入や提供の機会損失がありました。



行政機関（調達側）

ITサービスの情報が限定的



事業者（入札側）

行政ニーズが不透明



適正なITサービスの導入や提供の機会損失

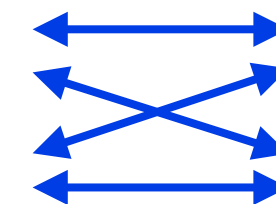
手続きが複雑・長期に及ぶ

調達手続きが複雑で長期に及ぶことから、中小企業やスタートアップは調達時の調整に時間を要し、負担が大きくなっています。加えて、行政機関にとっても迅速なシステム開発・運用の妨げになっています。



行政機関（調達側）

調達手続きが複雑・期間が長い



事業者（入札側）

入札手続きが複雑・期間が長い



中小企業やスタートアップが参入しにくい

英国の事例（デジタルマーケットプレイス）

英国では、事業者がサービス仕様・価格表等をカタログサイトに登録・公開し、行政機関が要件にあったサービスを検索して比較することで、競争性を担保し、簡潔かつ短期間で契約できる「デジタルマーケットプレイス（DMP）」を2014年から導入しました。結果として、5年間で17億ポンド（2000億円以上）程度の経費削減を実現。また、英国のIT公共調達市場は2009年時点で18社が調達の8割を占めていたところ、登録ベンダーの9割が中小ベンダー・スタートアップ、2021年ではDMPを通じた調達額の3分の1を中小・スタートアップが占めることとなりました。

価格表やサービス仕様を登録
（事業者：入札側）



要件に合うサービスを検索
（行政機関：調達側）

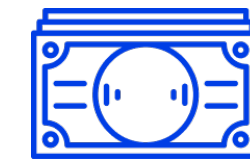


デジタル
マーケットプレイス



経費削減

2000 億円以上



（2014年/2009年比）

調達額の **1/3**

中小・スタートアップ



ベンダーの参入の増加

（2021年）

日本版「デジタルマーケットプレイス」導入の検討開始

海外事例も参考にしながら、新たなIT公共調達の仕事みづくりに取り組みます。

デジタル
マーケットプレイス

期待される効果

手続きの簡素化、調達期間の短縮

適正価格でのIT公共調達の実現

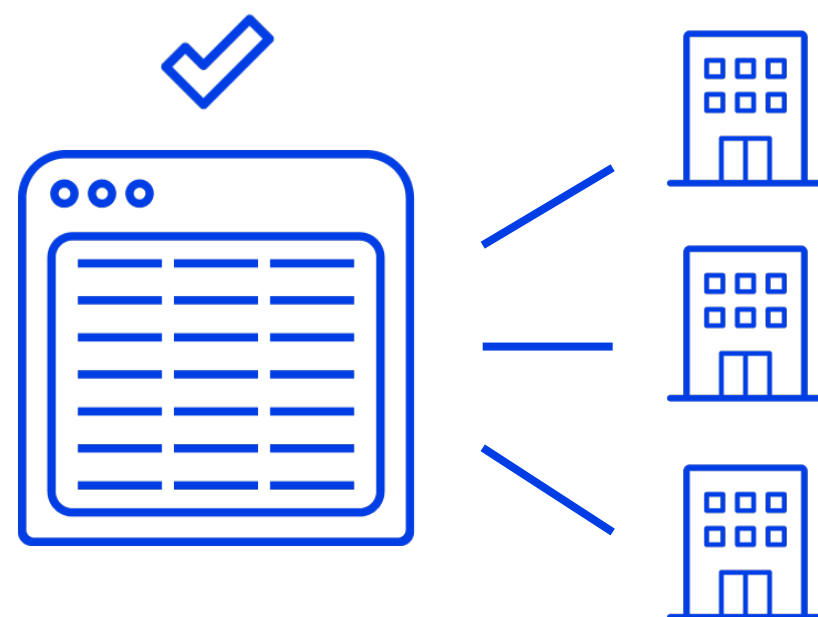
中小企業・スタートアップの参入機会の創出

デジタル庁の契約事業者等（再委託事業者含む）の公開

デジタル庁の調達案件に参加していなかった事業者や設立後間もない事業者が、調達案件への参加を検討しやすい環境を作るため、デジタル庁のウェブサイトにおいて、デジタル庁と契約実績のある事業者だけでなく、再委託された事業者の名称も公開しています。令和5年度調達案件からは、入札説明書へ、再委託事業者名も公開する旨を記載します。

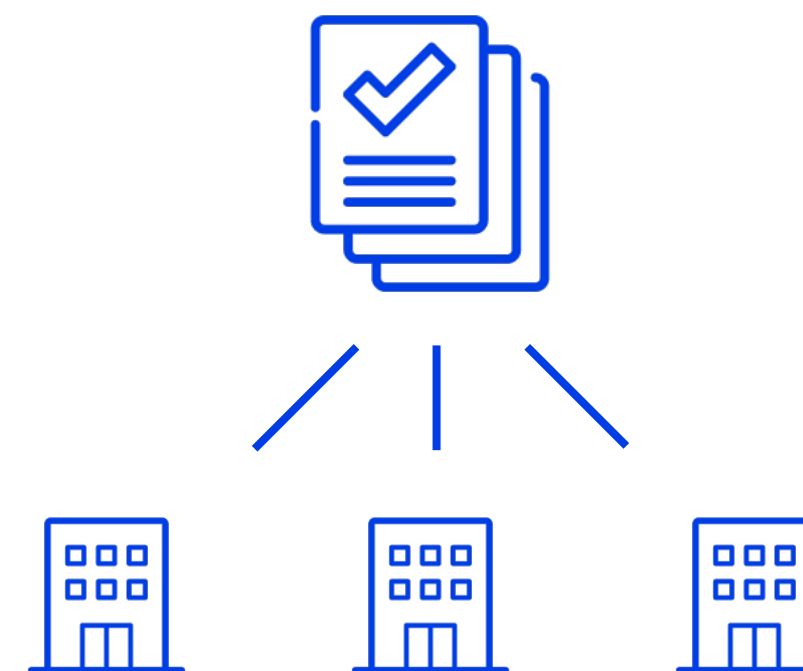
事業者の実績をウェブサイトで公開

デジタル庁ウェブサイトで、過去に契約または契約している事業者及び再委託事業者の名称を公開



再委託事業者名の実績も公開

令和5年度より、
入札説明書に再委託事業者名も公開する旨を記載



情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

1

テクノロジーマップ

2

調達プロセス改善

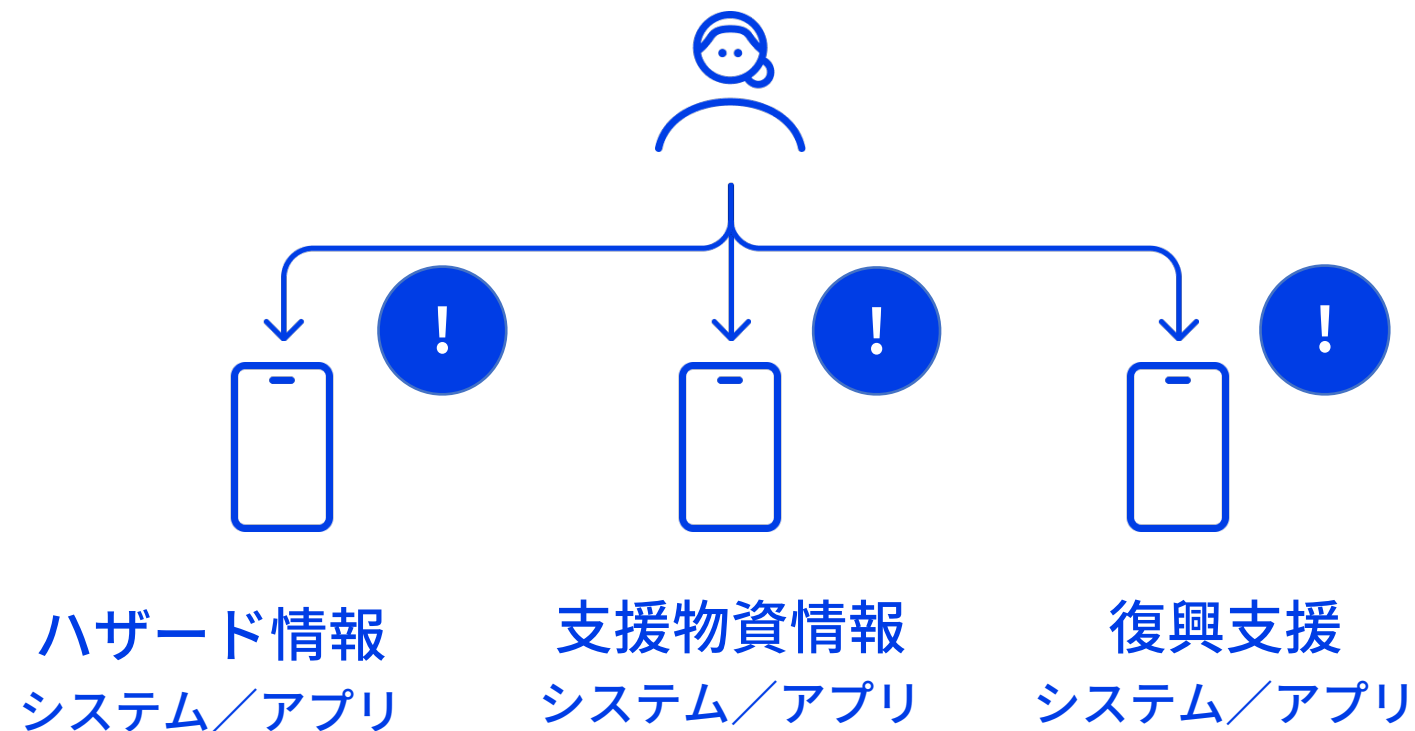
3

民間サービス活用（防災分野）

防災分野における民間サービス活用の課題

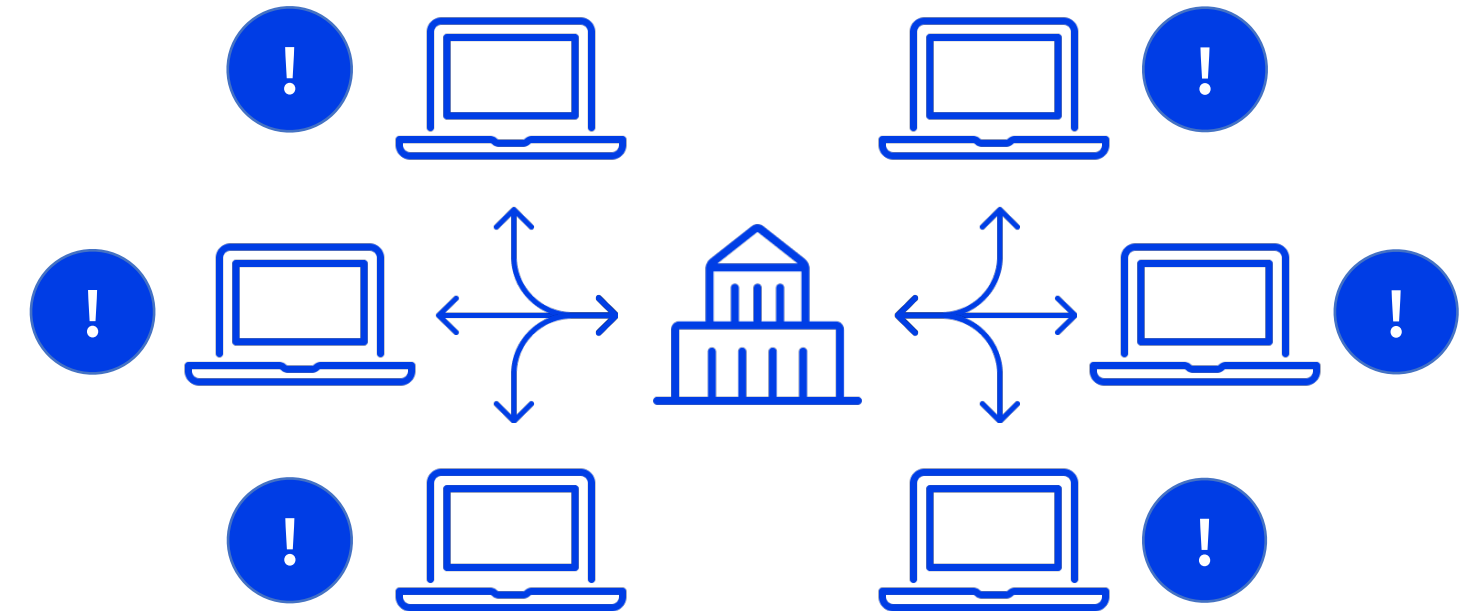
災害発生時には危険情報や支援物資の情報が、復興段階では被害を回復するための情報が必要となります。しかし、共通基盤となるデータアーキテクチャがないまま、個別のシステムやアプリが乱立すれば、住民・行政機関ともに負担が大きく、迅速・的確な情報伝達や、多様なシステムアプリの活用が妨げられる状況です。

システム / アプリが乱立して利用が面倒



住民は、別々のシステム / アプリへアクセスして個々にデータ入力が必要。情報把握も負担に。

システム / アプリが乱立して活用に負担



行政機関も、別々のシステム / アプリへアクセスして個々にデータ入力が必要。情報把握も負担に。

民間サービスを活用できる仕組みづくり

防災分野のデータアーキテクチャの設計やデータ連携基盤の構築を推進しています。

官民連携型防災DX推進協議会の公募



現在約 **200** の応募

防災分野のデータアーキテクチャの設計やデータ連携基盤の構築などの検討を目的とした、官民連携型防災DX推進協議会の公募を実施し、約200者の応募をいただきました。

防災に関するアプリ・技術の公募



現在約 **70** 件の応募

防災の現場で実用、活用可能なアプリ・技術を公募中です。自治体等が活用できるよう、優れたアプリ・ツールの一覧を作成して、公表していきます。

自治体や個人が、防災サービスを簡単に活用できるように

協議会とともにアーキテクチャを設計し、防災サービスにおける自治体や利用者の体験向上を目指します。

22年12月19日

シンポジウム開催

防災DX推進の協議会で
民間の防災技術結集の
シンポジウムを開催

23年3月内

カタログ整理

防災に関する
優れたアプリや技術を
カタログの形で提供

23年4月以降

サービスカタログサイト提供

日本版デジタルマーケットプレイス
実証カタログに防災サービスを掲載

防災サービスにおける自治体や利用者の体験向上を目指し、民間の技術を結集したシンポジウムの実施や、優れたアプリ・技術をまとめたカタログを整理します。今後、デジタルマーケットプレイスの実証カタログサイトにも防災サービスを掲載し、行政機関の円滑な利用を後押しします。

情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

1

Visit Japan Web

(入国手続きオンラインサービス)

2

新マイナポータル (α版)

情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

生活者向けサービスの拡充

1

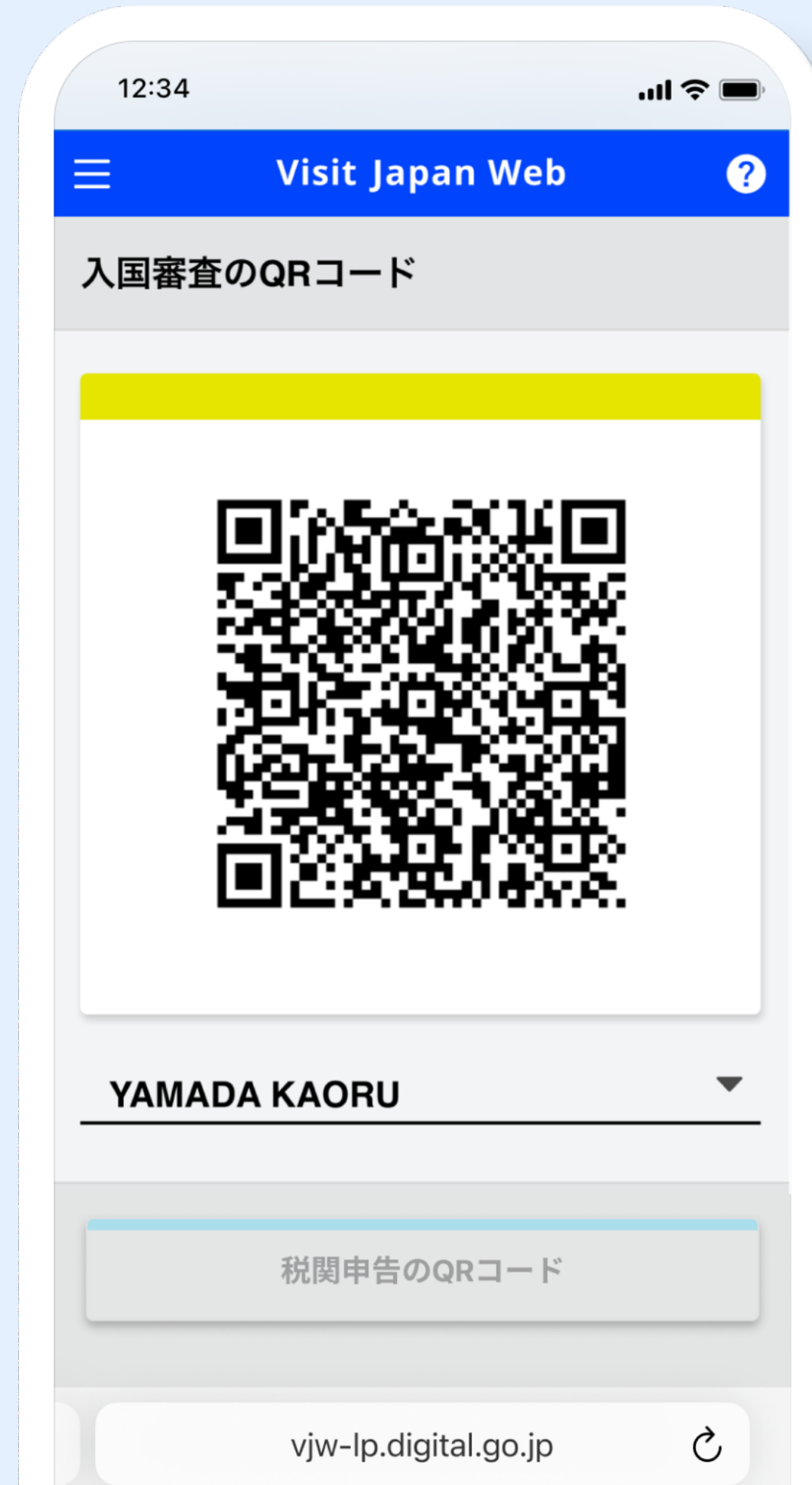
Visit Japan Web

(入国手続きオンラインサービス)

2

新マイナポータル (α版)

11月1日から サービスをアップデート



今までは、入国手続きサービスが2つ存在

MySOS

検疫



Visit Japan Web

入国審査



税関申告



11月から入国手続きのオンラインサービスを一本化

MySOS経由の検疫（ファストトラック）機能を統合しました。これによって、海外から入国される方と帰国される方がこのサービスを利用し、検疫、入国審査、税関申告の入国手続きがひとつのサービスでスムーズに行えるようになりました。

検疫



入国審査



税関申告



水際対策の緩和後、 多くの方々がご利用

利用アカウント数（合計）

2,040,000 件

1日の利用アカウント増加数（概算）

+50,000 件

（2022年12月16日時点）



12:34

Visit Japan Web

入国・帰国の予定を登録

入国・帰国の予定 * は必須項目

旅行名
入国・帰国予定に名前をつけると複数の予定を区別しやすくなります
最大15文字

日本への到着予定日 *

● 搭乗機名

航空会社名
共同運航便の場合は主たる航空会社名を入力してください

便名(数字のみ)

vjw-lp.digital.go.jp

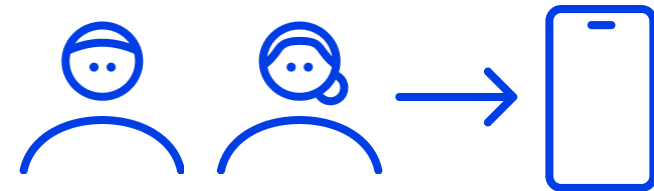
利用者のフィードバックを反映しながら、サービスを改善

今後、サービスの改善を続けるとともに、4月以降順次新たなサービスの提供も予定しています。



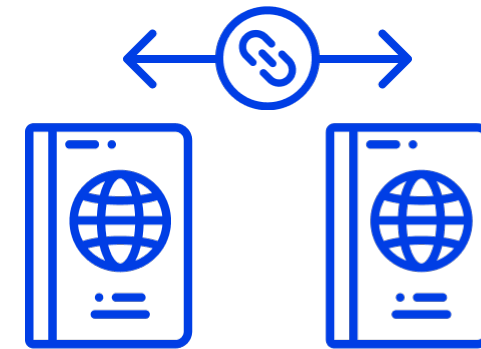
パスポート情報の 読み取りができる

スマートフォンのカメラでパスポートを読み込むだけで、個人情報が自動入力されます。



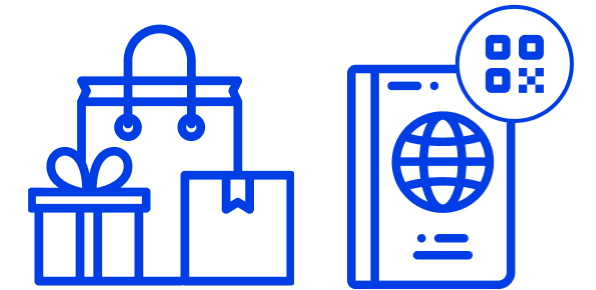
第三者による 代行入力ができる

家族や旅行代理店等の第三者が本人から取得した個人情報を代理入力することができます。



ビザ情報の 自動入力ができる

査証発給番号を入力すると必要な情報が自動入力されて入国手続きにご利用できます。



免税品購入時に 本人確認ができる

二次元コードを提示するだけで、パスポートの提示が不要になり、免税対象者の確認ができます。

情報提供と公開

サービス開発ガイド提供と情報のオープン化

官民連携

民間事業者との協業推進

やさしいサービスへ

国民向けサービスの拡充

1

Visit Japan Web

(入国手続きオンラインサービス)

2

新マイナポータル (α版)

これまでマイナポータルでは、機能の追加と改善を実施

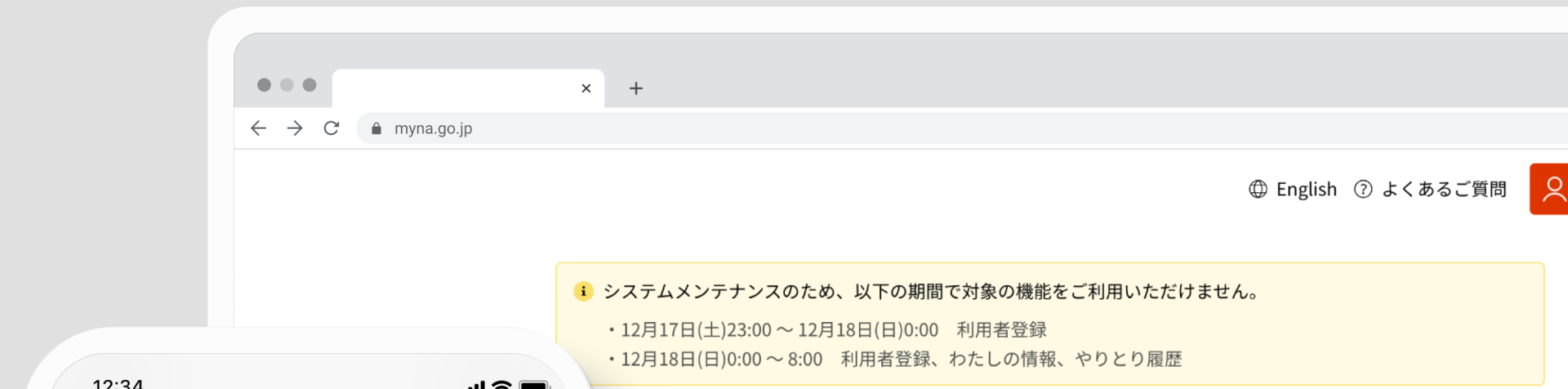
2021

チャットボット機能

申請入力支援機能

薬剤情報・特定健診情報の閲覧機能

医療費情報の閲覧機能



2022

e-Taxとの連携機能にふるさと納税等を追加

国民年金の加入手続き等の機能

診療情報の閲覧機能

国民年金の社会保険料控除証明書の連携機能



認知されているが、利用が進んでいない状況

マイナポータル機能 ※1

50 個以上

マイナポータルの認知率 ※2

40 %

※1：2022/12時点 ※2：2022/10時点、デジタル庁調べ



これまでのマイナポータル 機能を見つけづらい 操作が難しい

これまでのマイナポータルは、情報が多いため
どんな機能があるか分かりづらく、操作や入力
が複雑で使いづらい状況でした。



これからのマイナポータル
**ひと目で分かる
簡単に使える**

マイナポータルの情報設計や伝えかたを見直し、少ない情報で分かりやすく、簡単に手続きや操作ができるようになります。



新しいマイナポータル
12月19日
実証版リリース



3つのサービスを提供。利用体験を大幅に見直し

情報設計や伝えかたを見直した、新しいマイナポータルを12月19日に実証アルファ版としてリリースしました。
手続きの検索、薬の記録の確認などの機能を、スマートフォンでどなたでも体験可能です。

1 見つけるをサポート



2 確かめるをサポート



3 忘れないをサポート



1

見つけるをサポート

手続きをライフイベントから探せるように

手続きの検索機能や一覧を、ご自身にとって必要な手続きを見つけやすいよう見直しました。実証版では、生活や人生にまつわるできごと（ライフイベント）についての総合的な案内や、生活に身近なキーワードからサービスを探ることが可能になります。



今までは、何ができるか分からない どれが自分に必要な手続きか分かりにくい

これまでのマイナポータルで手続きをしようとする、どこに機能があるのか見つけづらい、
手続きが探しづらい、行政用語が多く分かりにくいなどの課題が存在しました。



たとえば、出産時の手続き

簡単な設問に回答すれば 順を追って 必要な手続きを探せます。

出生届を出す方がお住まいの自治体について回答すると、その内容に応じて、進めるべき手続きとその受付先が提示されます。さらに、オンラインで手続きできるものが優先的に表示されます。

12:34

どこの窓口で申請しますか

手続きをする自治体を選んでください。住所・本籍があるか、出産した自治体に申請することができます。

都道府県名

選択なし

市区町村名

選択なし

回答して情報を見る

[スキップ](#)

12:34

出生届を提出する

出産した日を含めて14日以内

オンライン



生まれてきたお子さんを戸籍や住民票に記載するため、出生届を提出してください。

申請

児童手当を申請する

オンライン

国民健康保険に加入する

2

確かめるをサポート

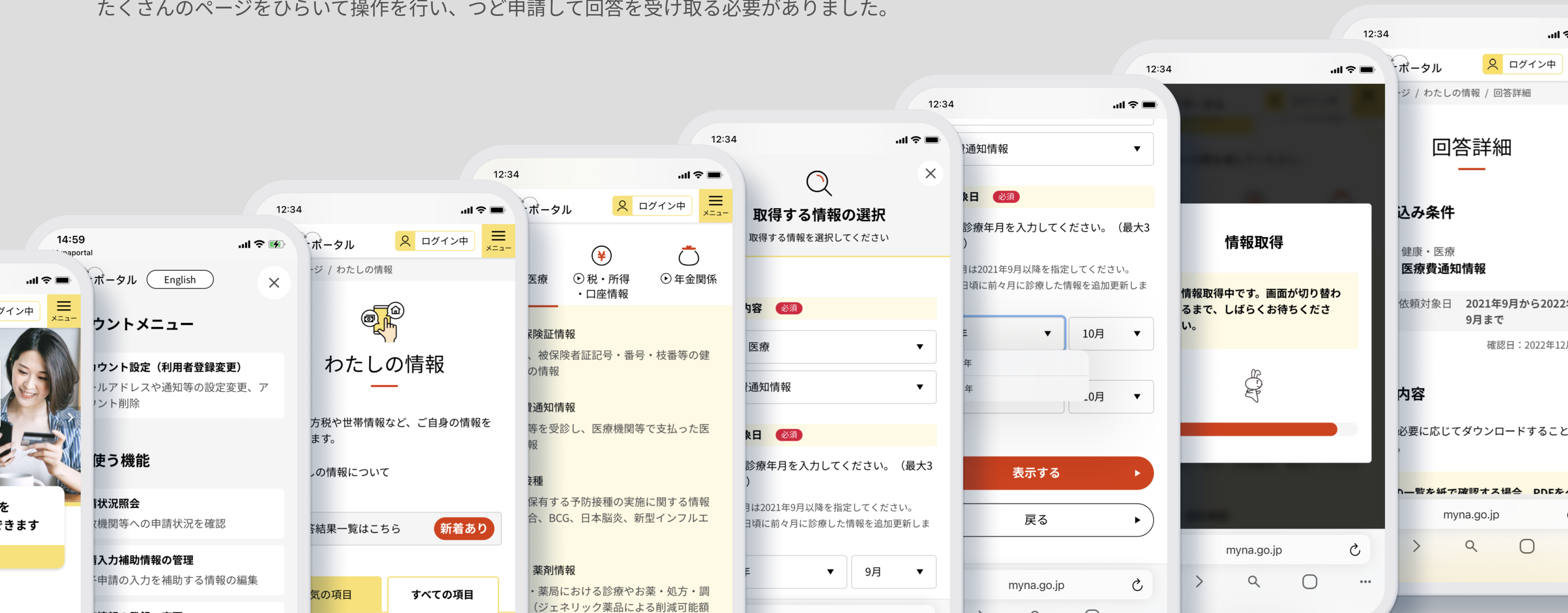
自分の記録や情報を簡単に確認できるように

現在のマイナポータルにある機能を、アクセスまでの手間を減らすように見直しました。例えば、薬剤や医療費の記録を、閲覧まで最低限のステップで、簡単に確かめることができるようになります。

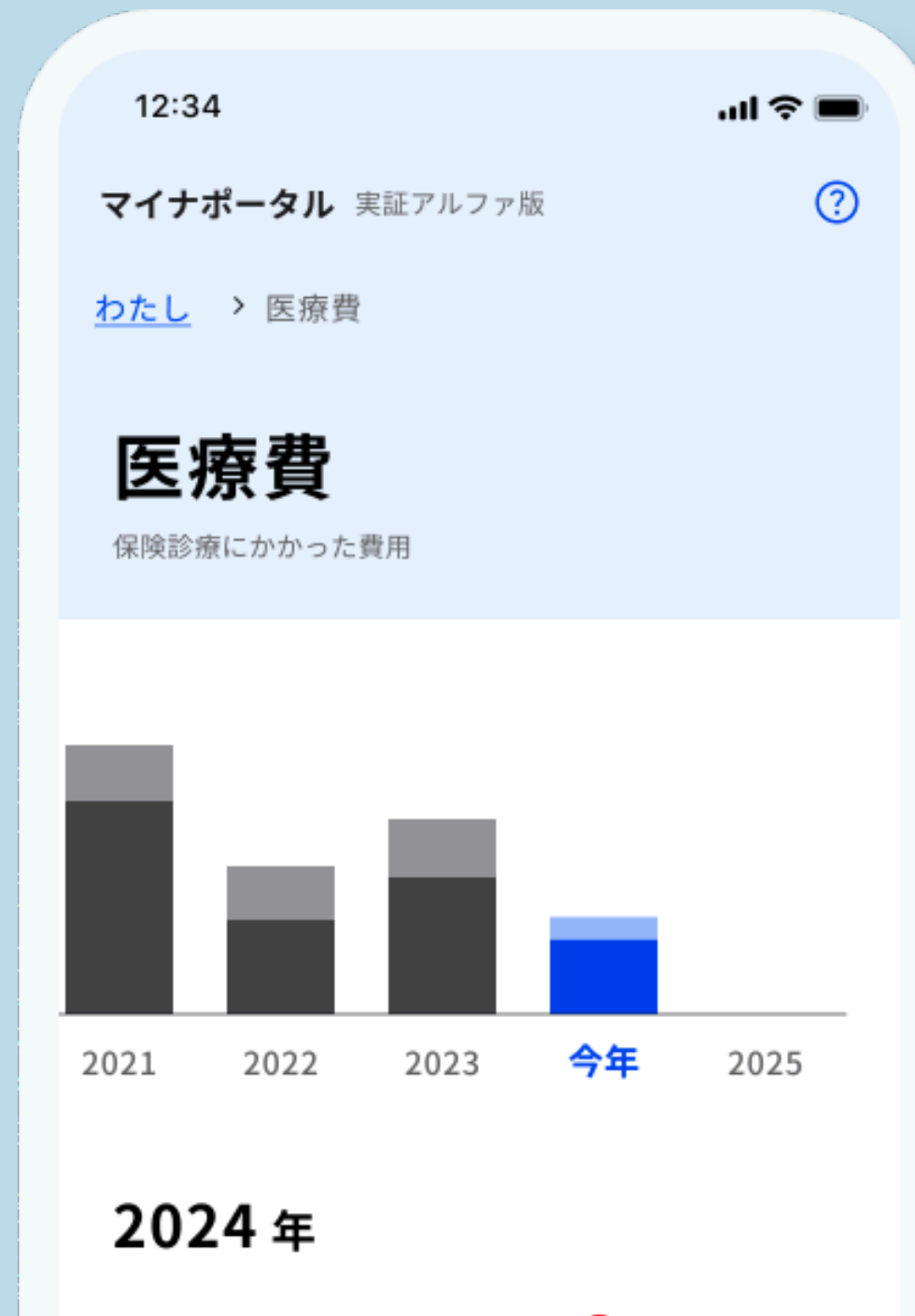


今までは、どこに自分の記録や情報があるか分からない 情報にたどりつくまでにステップが多い

これまでのマイナポータルで、薬や医療費など自身の過去の記録を確かめようとする、
たくさんのページをひらいて操作を行い、つど申請して回答を受け取る必要がありました。



薬や医療費、予防接種の記録をすぐに確認



12:34

マイナポータル 実証アルファ版

わたし > 薬

薬

薬局で処方された薬剤

年	薬
2019	
2020	
2021	
2022	

12月18日

まちなか薬局

サンプル酸サンプル注射液
10mg「アイウエオ」0.5%2mL

6錠 30日分 調剤 / 内服

1日1回就寝前服用 / 1回用量:2錠 / 不安時

マイナンバーカードや健康保険証の情報をすぐに確認 関連情報もすぐわかるように



3

忘れないをサポート

やるべきことに気づいて、完了できるように

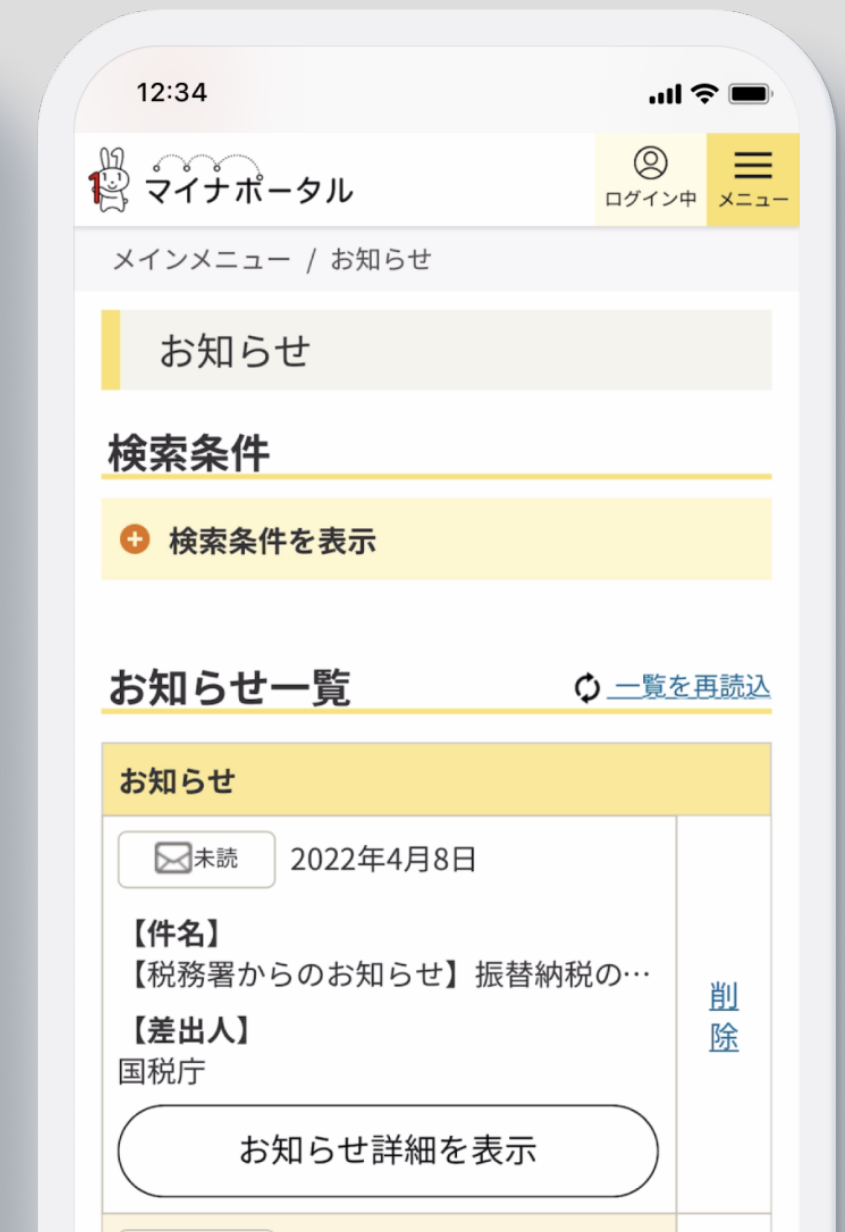
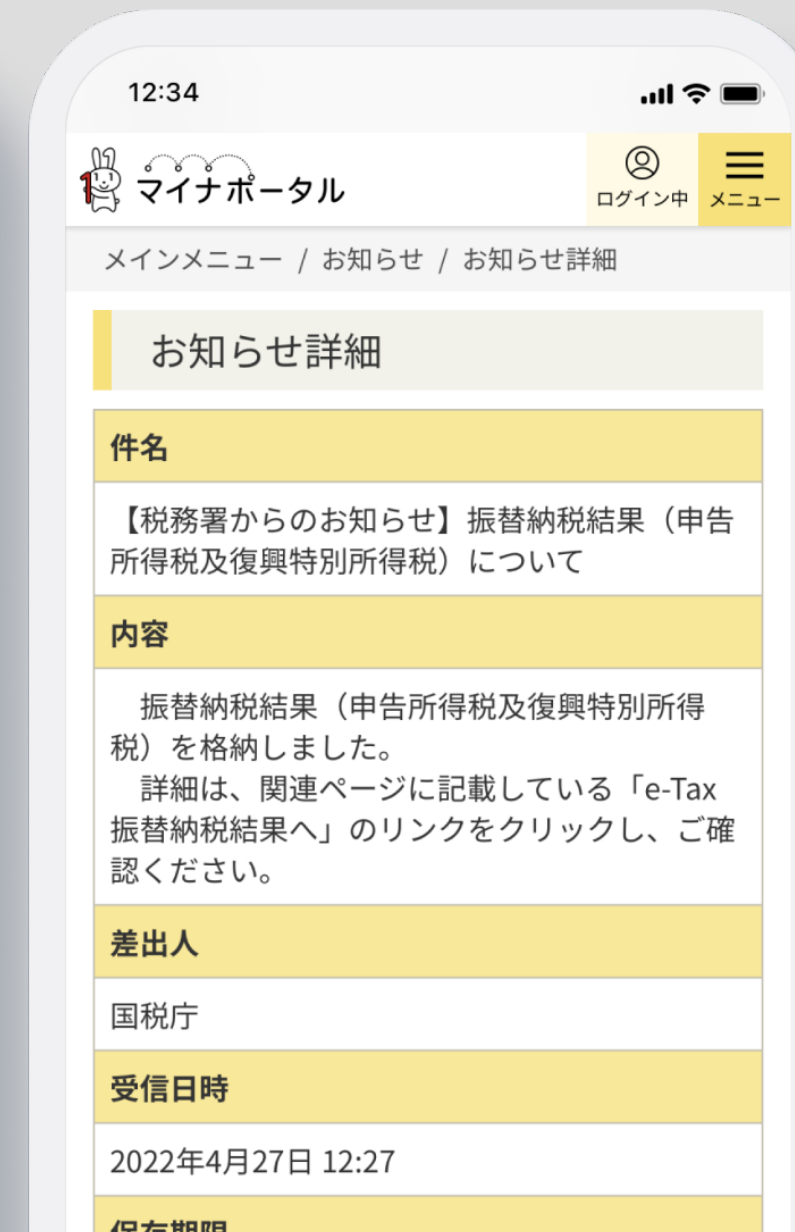
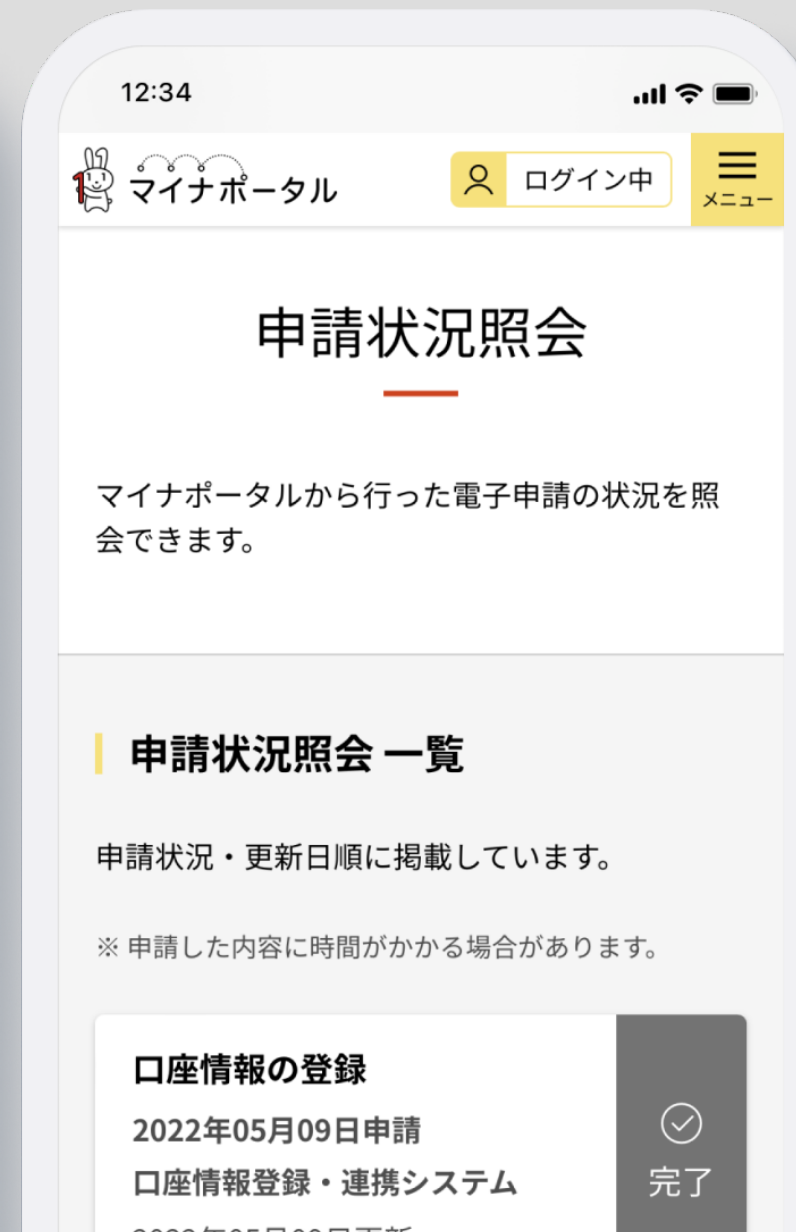
手続きの期限を忘れないようリマインドする「やること」機能を提供し、申請漏れや期限切れの防止をサポートします。

マイナポータル実証版は、スピーディに実証環境を準備し、価値ある改善を目指すため、機能、ページ、環境を一部に絞って提供します。本機能は、2022年度内に提供開始を予定しています。



今までは、いつまでに何が必要か分かりにくい やるべき手続きを忘れてしまう

これまでのマイナポータルでは、やるべき手続きや締切が各機能に分散して表示されていたため、何をしなければならないか直感的にわかりませんでした。



たとえば、証明書の更新 気づかないうちの 期限切れを防ぎます。

マイナンバーカードの利用者証明用電子証明書の有効期限が近くなったら「やること」として可視化。対応が完了するまで表示されます。行政手続きにまつわる「やること」は順次拡充され、タスク管理をサポートします。



たとえば、 自治体手続きの進捗確認 申請内容に問題があっても すぐに対応できます。

自治体手続きの申請後、その進捗が確認できます。例えば、児童手当の申請に誤りがあれば強調して「要再申請」と表示されるため、すぐ気づくことができます。



利用者といっしょにつくるサービスへ

利用者からフィードバックを得ながら、サービスを改善します。

手続きを拡充

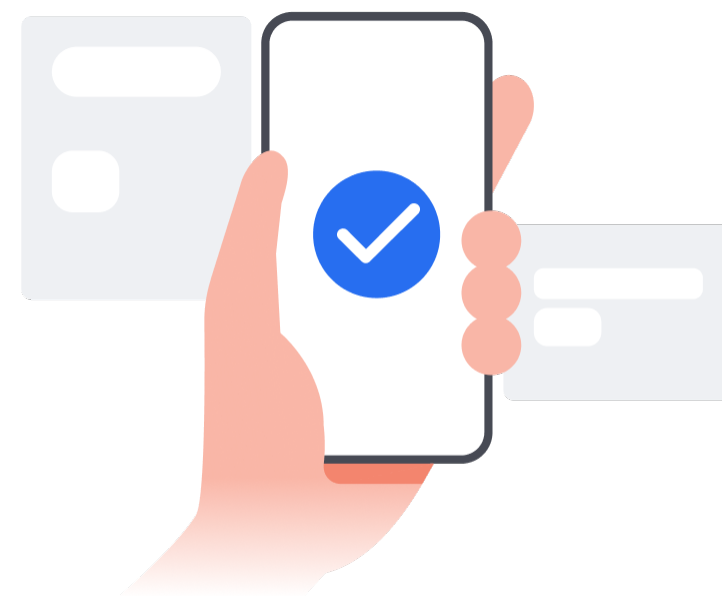
子育てや介護をはじめとした生活に身近な手続きを中心に、積極的にオンライン化を進めます。

2022年度内

+14 手続き

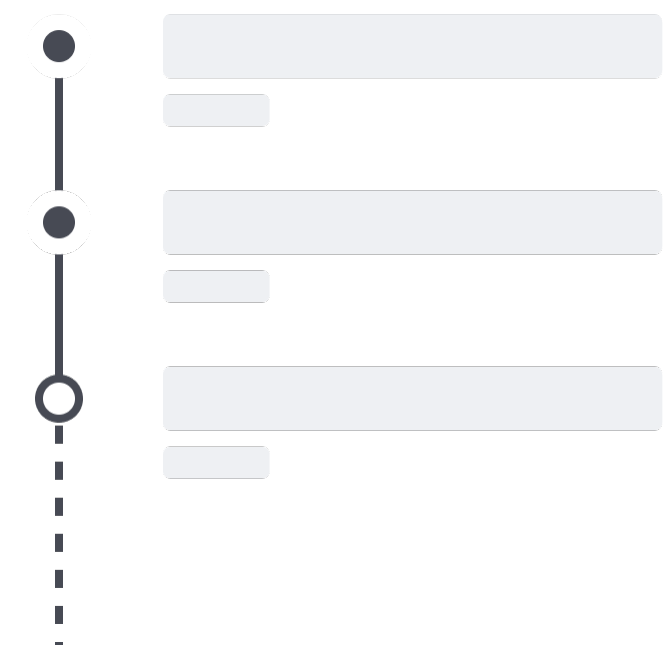
ログインをわかりやすく

マイナンバーカードを用いた、マイナポータルへのログイン・電子署名がわかりやすく、安心して使えるように、まずは表現を見直します。



利用履歴を確認しやすく

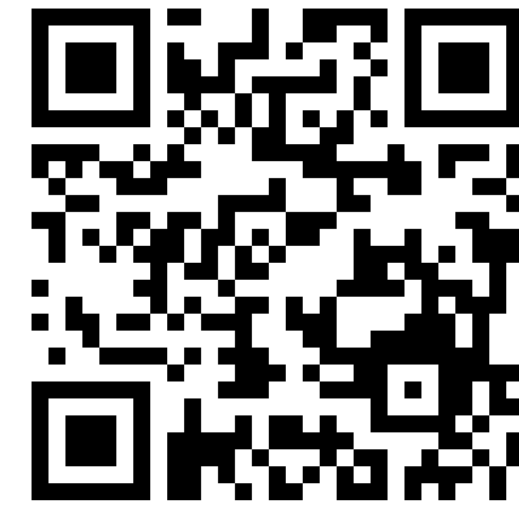
ログインや手続きなどの利用履歴をわかりやすく、簡単にご利用いただけるよう見直します。



「新しいマイナポータル」を体験ください。



スマートフォンで
ご利用いただけます



<https://myna.go.jp/alpha/introduction>

マイナポータル 実証アルファ版は、2022年12月19日（月）から利用可能となりました。

発表のまとめ

情報提供と公開

より良いサービスの提供とデジタル化への取り組みを共有するために、サービス開発ガイド提供と情報のオープン化を進めています。

1. サービス開発ガイド

カラー

2022年8月31日 アップデート

Text Light, Text Dark, Background Light, Background Dark, Border Light, Border Dark, Status Light, Status Dark, Chart Light, Chart Dark, Button Light, Button Dark, Icon Light, Icon Dark, Semantic color

ウェブアクセシビリティ
導入ガイドブック

Introduction to
Web Accessibility

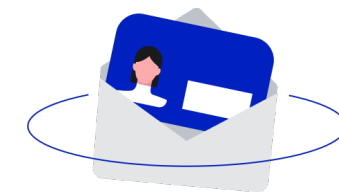
2022年12月12日発行

デジタル庁
Digital Agency

2. マイナンバーカードのメリットと安全性

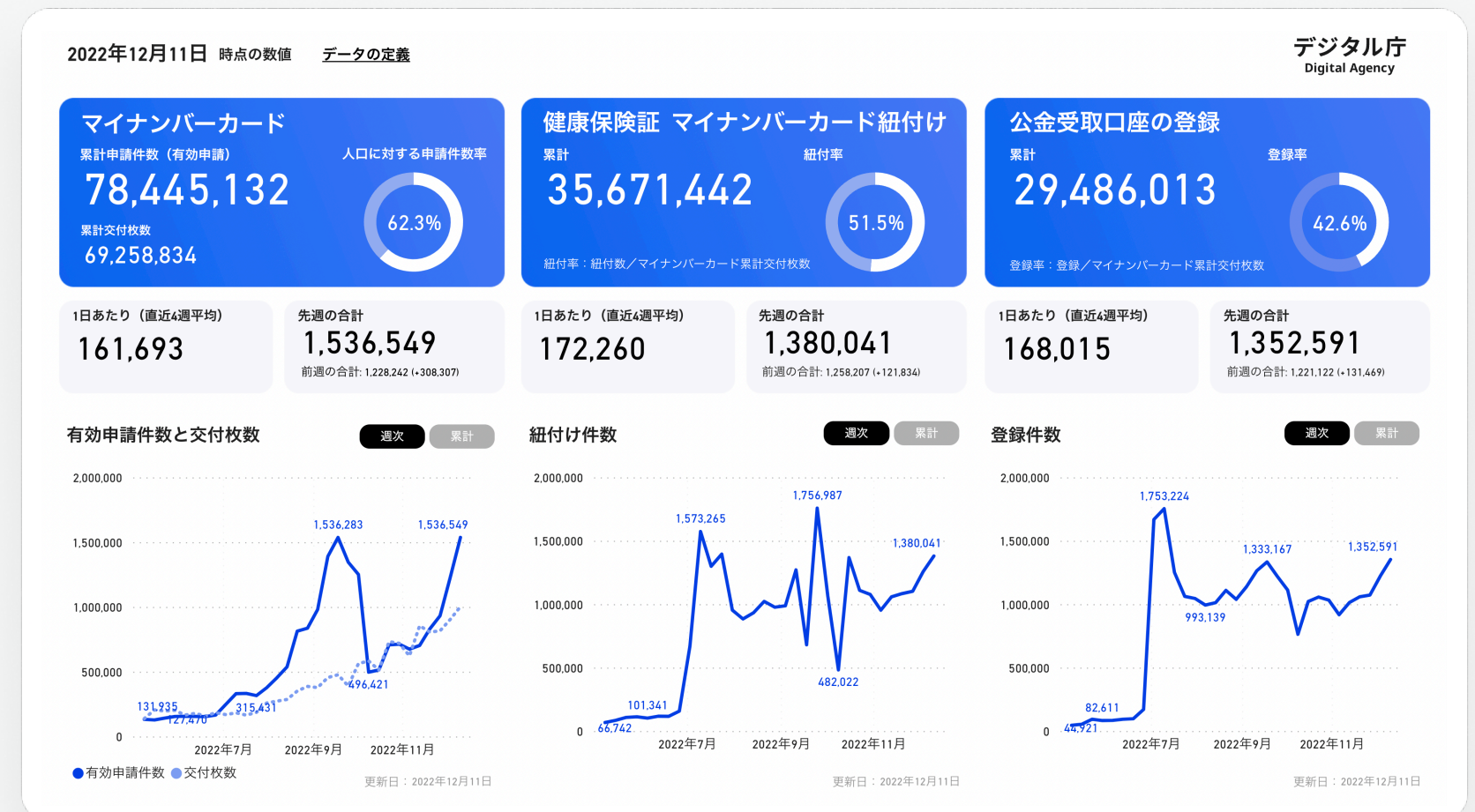


いつでもどこでも
オンライン手続きできます。



紛失時の一時停止
24時間365日のコールセンターを設置

3. 政策ダッシュボード (β版)



官民連携

行政機関のニーズと中小企業やスタートアップをはじめとした多様な事業者の技術を結びつけ、デジタル領域におけるサービスの品質向上や新たな事業機会の創出を目指します。

1. テクノロジーマップ

デジタル技術の公募を実施
第二弾募集テーマ検討



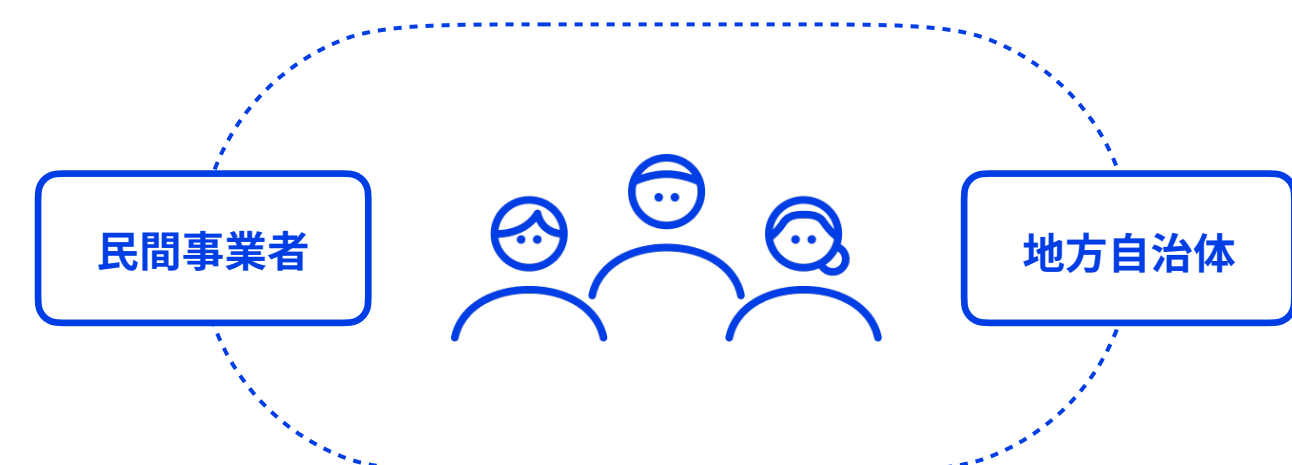
2. 調達プロセス改善

日本版「デジタルマーケットプレイス」導入
の検討開始



3. 民間サービス活用（防災分野）

防災DX推進の協議会で
民間の防災技術結集のシンポジウムを開催



やさしいサービスへ

入国手続きサービスや新たなマイナポータルでは、利用者からのフィードバックにもとづき継続的にサービスの改善を行います。「生活者、事業者、職員にやさしい行政サービス」の提供を目指します。

1. Visit Japan Web（入国手続きサービス）

入国手続きサービスを一本化

検 疫



入国審査



税関申告

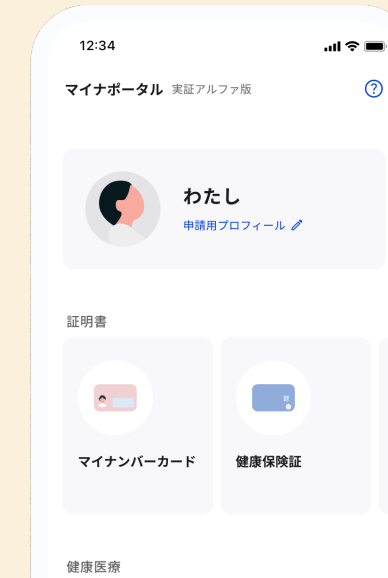


2. 新マイナポータル（α版）

見つける



確かめる



忘れない



新しいマイナポータル

12月19日

実証版リリース



2022年9月-12月

デジタル庁活動報告

2022年12月19日

デジタル庁
Digital Agency